

2025

全日本大学対抗テニス王座決定試合

男子79回 女子61回



日程：2025年10月21日（火）～10月26日（日）

予備日： 10月27日（月）・28日（火）

会場：愛媛県総合公園テニスコート（ハードコート）



銀行を、 人に合うかたちへ 変えていく。

お金に向き合うことは、お金の先にいる人に向き合うこと。
だからこそ私たちは、デジタルを取り入れ変革を進めています。
心地よく、使いやすい、人にとってより自然な存在になれるように。
どこからでも、つながる。手のひらで、お手続きできる。
将来の計画を、プロとつくれる。悩みを、もっと分かち合える。
いま、着実にそれらを実現しています。
私たちはきっと、ずっと、こんな銀行になりたかった。

Better Money,
Better Life.



伊予銀行

勝ち切るスピ

ダンロップを代表するスピン系ラケットが、その弾道補正機能をさらに強化し、バージョンアップ。

攻めも守りも、さまざまなスピン性能が求められる中で、
ダンロップがめざしたものは、コントロールとパワーを併せ持つ勝ち切るスピン性能。

すべてはライバルにも自分にも勝ち切るために。

スピードもスピンも攻撃力を落とすことなく、
一層安定した飛びを実現する「SXシリーズ」は第3世代へ。



S X S E R I E S



テニスで変わる人生がある

NOAH INDOOR STAGE

《テニススクール・ノア 事業所一覧》

■兵庫県

- ・尼崎塚口校
- ・姫路校
- ・姫路青山ブルーマウント校
- ・加古川校
- ・神戸名谷校
- ・宝塚伊丹校
- ・西宮校
- ・HAT神戸校
- ・神戸御影校

■大阪府

- ・大阪池田校
- ・大阪阿波座校
- ・大阪天下茶屋校
- ・大阪深江橋校
- ・大阪南千里校
- ・大阪久宝寺校
- ・大阪茨木校
- ・大阪都島校
- ・大阪通天閣前校
- ・大阪横堤校

■京都府

- ・京都西校

■東京都

- ・国分寺校
- ・世田谷桜新町校
- ・南町田校（2024年7月オープン）

■神奈川県

- ・横浜井土ヶ谷校
- ・横浜綱島校
- ・横浜センター南校
- ・横浜東戸塚校
- ・溝の口校
- ・川崎宮前平校

■埼玉県

- ・武蔵浦和校
- ・和光成増校
- ・ハンデ川口校

■岡山県

- ・倉敷校
- ・岡山校

■愛知県

- ・名古屋瓢箪山校

インドアテニススクール全国35校! 会員総数3万人以上!



2025卒・2026卒

新卒採用募集中



NOAH ノアインドアステージ株式会社
INDOOR STAGE



ジュニアからプロまで、テニスのすべてをサポートします！

首都圏に**15**校 レックテニススクール

REC TENNIS SCHOOL



レック興発は東京、埼玉、神奈川と
関東を中心にテニスクールを展開しているテニス企業です。



Team REC 所属プロ



鈴木貴男プロ



田口涼太郎プロ



川橋勇太プロ



正林知大プロ



乾祐一郎プロ



堀内竜輔プロ

スクール一覧

東京都

レックインドアテニススクール西東京
レックインドアテニススクール上石神井
レックテニススクール府中
ネオインドアテニススクール 西新井
高島平インドアテニススクール
7CC 武蔵境テニススクール

埼玉県

7CC 浦和テニススクール
7CC 上尾テニススクール
7CC 久喜テニススクール



神奈川県

レックインドアテニススクール新百合ヶ丘
7CC 武蔵小杉テニススクール
7CC 溝の口テニススクール
7CC 橋本テニススクール
7CC 相模原テニススクール
7CC 伊勢原テニススクール



テニスを日本一メジャーなスポーツに!!

株式会社 レック興発

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-11-7 日立神田ビル1階

03(3370)8918 レック テニス 検索



▶ Youtubeチャンネルで活動を公開中!!



求む。

大学テニスコートで
磨いた技術と情熱を
未来につなげる人。

テニスで周りを笑顔にできる人。常に注目を浴びたい人。実はあまりテニス好きじゃないけど、プレーするのは得意な人。テニス愛なら、誰にも負けたくない人。気づいたらテニス動画を見ている人。テニス動画を見て解説をしたことがある人。普段口数少ないがテニスコートではよくしゃべる人。テニス漫画に出てくるキャラクターを本気で好きになったことがある人。テニス中心に進路を決めてきた人。いつでもどこでも素振りしている人。カバンの中に常にテニスボールが入っている人。有名テニス選手のモノマネが得意な人。自分が使うテニスの道具を定期的にメンテナンスしている人。友達からガット張り替えを依頼されて快く引き受ける人。オリジナルテニスグッズを考えたことがある人。テニスコートに立つ自分が本当の自分だと言える人。テニスをしている自分が一番カッコいいと感じている人。テニスの知識は誰にも負けない人。テニス以外にも様々なスポーツを経験してきた人。自分だけの世界観を持っている人。大学テニスって最高!と本気で思っている人。

テニスコーチ募集

問い合わせ先

TEL.045-681-8910 (採用担当 坂口)

GODAI 採用

検索

GODAI採用HP
はこちら



GODAI 武蔵浦和

首都圏最大級インドア
テニススクールOPEN!

Vシリーズ

プロ使用モデル

ツアーコンボ使用
内山靖崇プロ



全日本選手権
第100回大会(天皇杯)
シングルス・
ダブルス優勝

ツアーコンボ使用
田口涼太郎プロ

ツアーコンボ

スピードコンボ使用
松田龍樹プロ



スピードコンボ



パワーコンボ

勝つための「究極のシナジー」ストリング

COMBO SERIES

Toalson®

株式会社トアルソン
<https://www.toalson.co.jp>

〒651-0078 兵庫県神戸市中央区八雲通 3-1-24
TEL: 078-232-1991(代表) FAX: 078-232-0213

ご購入はこちら▶



トアルソン公式オンラインストア

大会要項
2025年
全日本大学対抗テニス王座決定試合
男子79回／女子61回

大会名	2025年 全日本大学対抗テニス王座決定試合
主催	一般社団法人全日本学生テニス連盟
共催	公益財団法人日本テニス協会
主管	愛媛県テニス協会
特別協力	愛媛県
協力	愛媛県スポーツ振興事業団・松山市
後援	スポーツ庁
特別協賛	ダンロップスポーツマーケティング・伊予銀行
協賛	GODAI グループ・ノアインドアステージ・レック興発・トアルソン 三浦工業・オオノ開発・大王製紙 四国電力・四国電力送配電 えひめ飲料・四国乳業・JA 全農えひめ
オフィシャルボール	ダンロップフォート
オフィシャルトレーナー	仙波 桃汰
大会会場	愛媛県総合運動公園テニスコート（ハードコート） 所在地 愛媛県松山市上野町乙 46 番地
大会日程	開会式:2025年10月21日(火) 試合:10月22日(水)～10月26日(日) [予備日:10月27日(月)、10月28日(火)]
競技形式	トーナメント方式、男女10大学による団体戦 男子:ダブルス3本・シングルス6本 女子:ダブルス2本・シングルス3本 優勝校には文部科学大臣杯が授与されます
参加資格	全日本学生テニス連盟に登録している大学で加盟員各地域の予選大会を勝ち上がり、所属する各地域学生テニス連盟から推薦された大学
エントリー方法	ネットエントリー方式 追って出場資格大学に連絡しますが、各大学の主務・代表者は、全日公式サイトのエントリー情報よりアクセスして下さい (https://www.intercollegiate-tennis.com/system/)
エントリー費	¥50,000
観戦	無料
問い合わせ先	全日本学生テニス連盟 TEL 03-5577-4940 受付時間 月～金曜日 13～17時 FAX 03-5577-4942 E-mail gakuren.gimukyoku@gmail.com



全日本学生テニス連盟 会長 坂井 利郎

男子 79 回、女子 61 回となる伝統の【全日本大学対抗テニス王座決定試合】が、今年も盛大に開催されますことを大変嬉しく思っております。
当大会は愛媛県、愛媛県スポーツ振興事業団及び松山市など各関係組織の多大なるご支援を頂き、
2018 年より一昨年まで愛媛県総合運動公園テニスコートにて行われて来ましたが、このたび再び松山にて開催の運びとなりましたこと、誠に慶ばしく存じます。
コロナ禍を乗り越え、平穏な日常を取り戻した今、各校部員ならびに OB・OG をはじめとする多くの関係者のご尽力のもと、
新たな世代が切磋琢磨し、真の大学日本一を決するにふさわしい舞台として、本大会がさらなる飛躍を遂げることを願っております。
全国各地域での激戦を勝ち抜き、見事に本大会に出場される男女各 10 大学の皆様には、母校の名誉をかけてフェアプレーの精神とチームワークで、
日頃の練習の成果を遺憾なく発揮されますことを多に期待しております。
最後になりましたが、特別協賛頂きました株式会社ダンロップスポーツマーケティング様、
伊予銀行様をはじめ大会開催にご尽力戴いております多くのスポンサー・関係者の皆様に心から感謝を申し上げ挨拶とさせていただきます。



愛媛県知事 中村 時広

2025年全日本大学対抗テニス王座決定試合が盛大に開催されますことをお喜び申し上げます。
本大会の愛媛県での実施は、2年ぶり6度目となります。多くのテニスファンの熱い声援に包まれた会場で、再び大学生の皆さんが日本一の栄冠を目指して、
チーム一丸となった真剣勝負を繰り広げていただきますことを大変うれしく思いますとともに、御来県の皆様を心から歓迎いたします。
また、全日本学生テニス連盟におかれましては、学生テニスの普及・発展を通じ、地域スポーツの振興に多大な御貢献を賜っており、深く敬意を表します。
さて、本県では、「スポーツ立県えひめ」の実現に向け、オリンピックで活躍できるようなトップアスリートの輩出を目指した競技力の向上や、
大規模スポーツ大会の誘致を通じた地域活性化など、さまざまな施策を展開しており、国内学生テニス界の頂点を決定する本大会が開催されますことは、
県内におけるテニス競技の発展はもとより、地域の活力創出に大きく寄与するものと、誠に意義深く存じます。
選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮し、白熱したゲームを展開されますよう心からのエールを送りますとともに、
地域や大学の枠をこえた交流を深められ、いつまでも思い出に残るすばらしい大会となりますことを願っています。
終わりに、本大会の御成功と、全日本学生テニス連盟のますますの御発展、並びに皆様方の御健勝、御活躍を祈念申し上げます。



愛媛県テニス協会 会長 大塚 岩男

男子第79回、女子第61回の歴史を誇る「全日本大学対抗テニス王座決定試合」が開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

全国各地の激戦を勝ち抜かれた学生テニストップクラスの選手ならびに監督、大会関係者の皆様をここ愛媛松山にお迎えし、

2025年度全日本大学対抗テニス王座決定試合を開催できますことは誠に光栄なことであり、

愛媛県テニス協会を代表いたしまして心から歓迎申し上げます。

本大会の会場である愛媛県総合運動公園には「愛顔つなぐえひめ国体」の開催に合わせて国際基準の素晴らしいハードコートが整備されており、

この施設では中四国・九州で唯一のATP公認大会である「ユニ・チャームトロフィー愛媛国際オープン」を開催しています。

この大会は世界で活躍する選手はもとより、これから世界へ羽ばたく若手選手にとっても大きなチャンスとなる大会であります。

この大会への出場を契機に大学テニス出身の島袋将選手や柚木武選手がグランドスラムで本戦出場を果たすなど世界の舞台で大きな飛躍を遂げられています。

大学テニス界から世界へ羽ばたく選手が一人でも多く現われることを期待しております。

大学テニスは、競技力の向上だけでなく、選手としての成長や豊かな人間性を育む貴重な場であり、同時に生涯にわたる友情を築ける特別な機会でもあります。

本大会を通じて、チームが一つとなり、大学日本一を目指して全力で試合に臨んでいただきたいと思います。

結びに、本大会の開催にあたり主催者であります全日本学生テニス連盟をはじめ、

ご協力を賜りました関係者の皆様へ心から感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



全日本学生テニス連盟理事長 藤岡 源

このたび、愛媛県総合運動公園において、男子第79回、女子第61回全日本大学対抗テニス王座決定試合が開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。

本大会の開催にあたり、多大なるご支援を賜りました各協賛企業の皆様、並びに運営にご尽力いただいた関係各位に、厚く御礼申し上げます。

本大会は、各地域のリーグ戦を勝ち抜いた大学が一堂に会し、真の「大学日本一」を懸けて競い合う団体戦の全国大会です。団体戦の魅力は、

選手のみならず、監督・コーチ・サポーター・OB・OGが一体となり、チームとして勝利を目指す点にあります。応援の声コートに立つ選手の背中を押し、時には格上の相手をも打ち破る瞬間が生まれる。その熱気こそが本大会の醍醐味です。

ご来場の皆様には、ぜひその真実勝負の瞬間を見届けいただければ幸いです。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりご協力いただきましたすべての皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

大会日程

	10/21(火)	10/22(水)	10/23(木)	10/24(金)	10/25(土)	10/26(日)	10/27,28 (月,火)
男子	開会式	1 回戦	2 回戦	2 回戦	準決勝	決勝	予備日
女子	前日練習					3 位決定戦	
試合数		4	4	4	4	4	

※ 10/23 はドロー番号が 4 vs 5 と 6 vs 7 、10/24 は 1 vs 2 or 3 と 8 or 9 vs 10 の 2 回戦になります。

※ 表彰式は決勝戦及び 3 位決定戦終了後に行います。

【スケジュール】

■ 10/21(火) 開会式及び 1 回戦出場大学向け練習開放

9:15- 開会式リハーサル

9:30- 開会式 ※開会式終了後、随時プラクティスコート開放（開放割は HP にて発表）

■ 10/22(水) 男女 1 回戦及び 2 回戦出場大学向け練習開放

■ 10/23-25(木-土) 男女 2 回戦、準決勝

8:40～8:50 主将主務会議

9:00～9:40 プラクティス

9:50～10:00 オーダー交換

10:00～ 試合開始

■ 10/26(日) 決勝、3 位決定戦

7:40～7:50 主将主務会議

8:00～8:40 プラクティス

8:50～9:00 オーダー交換

9:00～ 試合開始 ※全試合終了後、表彰式を行います。

ドロー抽選は各大学代表者視聴参加のもと、10月中旬にオンラインで行います。

詳細は追ってご連絡いたします。

2025 年全日本大学対抗テニス王座決定試合

<注意事項>

○ルール・コードオブコンタクト

ルールは、「JTA テニスルールブック 2025」のテニス規約に基づき、コードは JTA ルールに基づく。

○大会出場にあたって

※ドロー抽選前の出場辞退

エントリー大学がドロー抽選 1 週間前以前に出場を辞退した場合、その大学の地域から、地域学生テニス連盟推薦をもって出場を決める。

※大会前の大会出場大学の不祥事について

地区大会で勝ち上がり、本大会の出場が決定している大学が本大会までに不祥事を起こした場合は各地区の学生連盟と全日本学生テニス連盟との話し合いで、大会出場資格を剥脱する場合がある。

※大会期間中に出場大学の不祥事について

本大会期間中に出場大学が不祥事をこした場合、当該大学を失格とし敗退になる場合がある。

○試合形式

男子の試合は 1 対抗のポイント数は複 3、単 6 の合計 9 ポイントとする。

女子の試合は 1 対抗のポイント数は複 2、単 3 の合計 5 ポイントとする。

男女共に、単複同日に行う。

試合はシングルスがベストオブ 3 タイブレークセットで、ダブルスがベストオブ 3 セット、第 1 第 2 セットはタイブレークセット（ノアドバンテージ方式）、1 セットオールの場合 10 ポイントマッチタイブレーク

使用ボールは公認ダンロップ FORT、ボールチェンジは QF まで 9-11-11、SF、F は 7-9-9 とする。

1R～SF・3 位決定試合:2 球使用 決勝戦:4 球使用

審判：QF まで SCU、SF から全試合主審副審制(両校より輩出、シングルス 1 のみ学連が行い開始から両校より CJ を輩出)

準決勝、3 位決定戦は勝敗が決まり次第、打ち切りありとする。決勝戦は勝敗が決まっている場合のみ 20 時打ち切りとする（その場合 20:10 より表彰式を行う）。

○コートサーフェス及び面数

ハードコート

注:天候等の理由により、大会を予定通り終了出来ない場合は違うサーフェスのコートを使用する場合がある。

男子は原則 3 面、女子は 2 面進行とする。また試合進行上、面数を増やすことがある。

○シード順位／ドロー抽選

第 1 シード～第 4 シードまでの順位は、昨年度の王座の大会結果に基づき決定をする。

ドロー抽選の日には、出場校が決まり次第発表。

○試合開始時刻(オーダー交換)

ダブルスのオーダー交換を 9:50(決勝,3 位決定戦の日は 8:50)に行い 10:00(決勝,3 位決定戦の日は 9:00)には試合を開始することとする。また、ダブルスの全試合が終了後、すぐにシングルのオーダー交換を行う。また、シングルのオーダー交換の際に、オーダーの書き直しを行う場合はコートレフェリーに伝え、理にかなった時間でシングルのオーダー交換の時間を遅らせることが可能である。また、シングルのオーダー交換終了後、ダブルスと同様 10 分後には試合を開始することとする。

また、出場する選手は必ずオーダー交換時にサービスマンライン上に整列することを義務とする。また、サブメンバーに関しては後列に整列するかは各大学に任せるものとする。

注 1:オーダー交換時は清潔でプレーに相応しいと認められたテニスウェアを着用しなければいけない。

注 2:オーダー交換後の各大学のミーティングで試合開始時刻が遅れることは認めない。

注 3:オーダー交換時に整列することができるのは部長・監督・部員・マネージャーとする。

注 4:自校の部旗が張ってあるサイドに整列すること。

○試合の順序

男子:ダブルス第 3 位から順次第 1 位、その後シングルス第 6 位から順次第 1 位。* 1

女子:ダブルス第 2 位から順次第 1 位、その後シングルス第 3 位から順次第 1 位。

ダブルスに出場していない選手同士の対戦はダブルスのオーダー交換の 10 分後に試合に入るものとする。この場合シングルス 2 まで適用される。シングルス 1 は最後に入る。

※1 ダブルスのレスト考慮で早い順に入れるためこの限りではない。

○服装

(1)選手の服装

選手の服装はテニスウェアであれば色は問わない。

しかし、試合中のウォームアップスーツ、トレーナーの着用は認めない。(試合中のベスト、セーター、カーディガンの着用は認める)

(2)ロゴ

ロゴは「JTA テニスルールブック 2025」に基づく。

(3)大学のロゴ

大学のロゴについて、大きさの規定はない。

(4)コンプレッションショーツ・コンプレッションスリーブの着用

「JTA テニスルールブック 2025」に基づく。

○オーダーについて

今年度、全日本大学対抗テニス王座決定試合のオーダー規約に基づく。

重要

1.大会の結果は全て大会終了時の対戦結果に基づくものとする。そのため、ラッキールーザー等で本戦大会に出場した選手は本戦選手扱いとなる。また、大会前等のドロー表には名前が載っていたが、怪我等で辞退することになりドロー表から名前が消去された場合はその大会に出場していないものとする。

2.各種ランキングは全日本学生テニスランキングを本大会ホームページ上で発表、JTA ランキングは2025年第42週時点を使用する。各自注意深くオーダー規約を確認することを推奨する。

○オーダー用紙の交換方法

必ず式次第時に相手校提出用と学連提出用の2枚を用意する。両校主将挨拶時に、相手校用を相手校主将に、学連提出用をその場で式次第を行っている学連に提出する(学連提出用を大会本部に提出することがないように)。

重要

今大会では、オーダー交換が上記の方法で行われず、オーダー交換に不備があった場合はペナルティが課せられる。

(以下参照)

各地域でのリーグが以上の方法で行われていない場合は、王座出場校に以上の方法を教えるのは各地域学連の義務とする。

○オーダー用紙について

1. オーダー用紙はコピー可能。(同じサイズのみ)

2. オーダー用紙の様式は、当連盟指定の用紙に毛筆またはペン書き(黒または青)とする。

→今大会からデジタル入力も可能とする。フォント・大きさに指定はないが、わかりやすく記載すること。

3. 名前はフルネームで記入すること。

4. 日時など数字を記入する箇所は漢数字でも算用数字でも可能。

5. 式次第のときにオーダー用紙がない場合、その当該校にペナルティを科す(以下参照)。

6. 大学名は正式大学名称で記入すること。分からない場合は相手校に確認する。

7. オーダー用紙を封筒に入れる必要はないが入れても構わない。

8. 訂正箇所(修正液不可)には2重線を引き、部印がそれにかかるように押すことによって訂正を認める。

○オーダー順位について

オーダー規約に基づいてダブルス・シングルスそれぞれのオーダー用紙に記入すること。順位の書き間違いによるペナルティは「○オーダー・オーダー用紙のミスのペナルティについて」を参照すること。

○オーダー・オーダー用紙のミスのペナルティについて

オーダー順位は、オーダー規約に基づくものとする。

1. オーダー規約にもとづかない順位で発表されたオーダーに関しては
・その誤りのあった対戦を没収(ダブルスとシングルスどちらのオーダー交換時も共通)

例)本来「A・B・C」の順で固定であったオーダーを誤って「A・C・B」の順で提出し、相手校に提訴された。→BとCの試合を没収、提出した大学側の2敗となる。

これらの処置は、相手校の主将・主務・質疑権所有者の提訴があった場合にコートレフェリーがとる。

注1:オーダー規約の違反に対しての提訴は、複・単共に、その試合終了までとする。

注2:主将・主務・質疑権所有者以外からの提訴は、受け付けない。

注3:オーダー規約を確認するための過去の地方大会の資料の貸出は学連から行わない。

2. 記入ミスについて

例)部印がない、氏名・大学名の漢字が間違っている場合など(違う大学名が書いている場合などは除く)

・特に罰則はない

3. 試合開始のダブルスオーダー交換時に、学連提出用と相手校提出用のどちらかが無い、またはどちらのオーダー用紙も無いという場合。

・ダブルス全試合 1st セットダウンから開始。

4. ダブルス終了後のシングルスオーダー交換時に、学連提出用と相手校提出用のどちらかが無い、またはどちらのオーダー用紙も無いという場合。

・シングルス全試合 1st セットダウンから開始。

○試合前のブラクティスについて

当日試合がある大学には朝のブラクティスコートが振り分けられる。コート時間の詳細はオーダー・オブ・プレーを参照すること。また、各試合前に5分間のウォーミングアップが与えられる。

○練習ボール・練習コート

練習ボールは各校で用意すること。

練習コートは、当日試合のない大学は朝のブラクティスを貸し出さない。朝のブラクティスコートはHP上のOOPに記載されているコートと時間でやること。

○トイレットブレイク

(男子)

1試合にシングルス1回、ダブルス1組1回、トイレを理由に原則としてセットブレイク時に理にかなった時間でとることが出来る。ただし、状態が深刻であるとアンパイアが判断したときは、緊急措置としてセットブレイク以外でもトイレットブレイクが認められる。

(女子)

1試合にシングルス1回、ダブルス1組2回、トイレ又は着替えの理由で、セットブレイク時に理にかなった時間でとることが出来る。トイレに関しては、状態が深刻であるとアンパイアが判断したときは、緊急措置としてセットブレイク以外でもトイレットブレイクが認められる。着替えはセットブレイク時のみとする。

注1:選手はコートに最も近いトイレを利用しなくてはならず、トイレットブレイク中はベンチコーチ、監督、コーチ、観客等と話してはならない。コートレフェリーまたラインアンパイアが選手についていく。

注2:認められた回数のトイレットブレイクをすべて使った後、必要であればトイレに行くことができるが、各セットの1ゲーム終了後を除くエンド交代時は90秒以内、セットブレイク時は120秒以内にプレーを再開しなければならない。再開できない場合はコードバイオレーション(不当なゲームの遅延)が科せられる。

注3:レフェリーが許可した場合を除き、トイレットブレイクとメディカルタイムアウト(MTO)を連続して取ることはできない。

注4:トイレットブレイクをトイレ目的以外で使用するなど、ルールを濫用したとレフェリーに判断された場合はコードバイオレーション(スポーツマンシップに反する行為)が科せられる。

注5:ウォームアップ中も試合中と同様、回数に数える。

注6:トイレットブレイクは、コートレフェリーがついていく。

○レストの時間について

レストの時間は本大会でダブルスからシングルスを行うため、以下のように定める。

試合時間 60分未満:30分

60分以上 90分未満:40分

90分以上:60分

注1:レストの時間はシングルの試合の有無に関わらず、ダブルスの試合を行った選手全員に確認する。

○ボールパーソン

ボールパーソンは原則1試合につき1名、各大学から出すものとする。ボールパーソンは必ずテニスウェアを着用すること。また、色に関しての指定はしないが選手の目につく色はなるべく避けるように心がける。部員不足等の理由によりボールパーソンが出せない大学は試合前日までに学連に申し出ること。

注1:ボールパーソンは選手やベンチコーチ等と会話してはならない。(場合によっては選手のコーチングペナルティ対象になる場合がある。)

注2:ボールパーソンの交代は認めるが、原則としてセットブレイク時のみとする。

注3:ボールの渡し方などは原則として自由である。

注4:選手にタオルを渡すことは可能だが、会話をしてはならない。

○ベンチコーチ

エンドチェンジの90秒間、セットブレイク時の120秒間にベンチコーチから選手はコーチングを受けることができる。(各セット1ゲーム終了後、またタイブレイク時のコートチェンジ間ではコーチングをしてはならない)ベンチコーチは事前申請用紙に提出された学生若しくは部長・監督・コーチが行うことができる。ベンチコーチの交代は自由。交代の際は主審に伝えて後、入ることができる。

※ベンチコーチのペナルティは1回目注意、2回目が警告、3回目は退場とする。また、退場した場合その試合中の代理は認められない。

注1:ベンチコーチは必ずテニスウェア・テニスシューズを着用すること。

○質疑権所有者

質疑権は、各大学主将・主務の一方にある。だが、主将主務両名が試合やベンチコーチ等でコート内に入り不在の場合は、他の部員が代理として質疑権所有者となることを認める。

各主将・主務は試合前、および試合進行中に質疑権の所在をコートレフェリーに明らかにしなければならない。質疑権所有者:試合進行上でコートレフェリー(レフェリー)に質疑する権利がある。しかし、ジャッジ等でもめたときにコート内に入ることが出来ない。

選手:チェアアンパイアは事実問題について判定し、その判定が最終裁定となる。チェアアンパイアは選手の要求によってオーバールールしてはならない。試合中の法的問題は、最初にチェアアンパイアによって裁定される。チェアアンパイアが不明の場合、またはその選手がその裁定を提訴した場合、その後の最終裁定はコートレフェリー(レフェリー)が行う。

○応援

声出し応援可能。(苦情が入った場合、拍手のみ等の対応をとる場合がある。過度な応援に対しては、注意、ペナルティを課す場合がある。)

歌応援は禁止とする。

罵声を発する、ジェスチャー・器具を用いて、相手校、相手校選手・審判などの心理を攪乱させるような行動及びプレーの妨げになるような行為をしてはならない。

学生スポーツ精神に反し、良識を欠くとみなされる場合は、レフェリーが客観的に判断して処分する。

○ヤジなどの不正な応援に対するペナルティ

チーム戦での応援妨害や不正応援

選手のプレーを妨害する応援や他人に不快感を与える応援は全てペナルティの対象になる。

主将・主務・質疑権所有者の提訴があった場合、コートレフェリー、またはレフェリーの判断で決める。また、限度を明らかに超えていると判断した場合は提訴がない場合でもペナルティを課すことがある。

1 度目:警告

2 度目:当該コートのみ拍手のみの応援(このペナルティはその対戦の間のみとする、次戦には持ち越さない。)

2 度目:当該コートのみ応援禁止(このペナルティはその対戦の間のみとする、次戦には持ち越さない。)

3 度目以降:全コート応援禁止(このペナルティはその対戦の間のみとする、次戦には持ち越さない。)

以上の注意警告を行われても、なお良識を欠くと判断されるような応援が続く場合は、学連内で会議を行い新たな罰則を科す事もある。

○応援に関する注意事項

・OB・OG、その他の方が観戦、応援をしていた場合もその大学の応援としてみなし、厳重な処罰を行う。各大学は責任をもって事前説明を行うことを推奨する。

・道具(太鼓・メガフォン・旗)を使っでの応援は一切禁止とする。

○メディカルルール

「JTA ルールブック 2025」に基づく。

注1:本大会にはオフィシャルトレーナーが常駐する。試合中(ウォームアップを含む)のケガの診断と治療が必要か否かの判断はオフィシャルトレーナーが行う。治療は自校のトレーナーも行うことができるとするが、メディカル・タイムアウト(MTO)の場合は判断が下された後に遅滞なく速やかに治療を開始しなくてはならない。

注2:自校のトレーナーが診断によって治療が必要とされた身体の部位とは関連のない部位の処置を行ってはならない。

注3:メディカルルールを濫用したとレフェリーに判断された場合はコードバイオレーション(スポーツマンシップに反する行為)が科せられる。

○物資の持ち込みや要求について

物資を持ち込む際は必ずコートレフェリーを通すこと。コート内へ勝手に運んだ場合、ペナルティの対象となる
ことがある。また、試合中、物資が必要となった際は審判にコートレフェリーを要求し、対応すること。

○トレーナー

本大会はオフィシャルトレーナーが常駐する。そのため、試合中（ウォームアップを含む）の怪我はすべてオフ
ィシャルトレーナーが診断を行う。診断の結果、治療が必要だとオフィシャルトレーナーが判断した場合は自校
のトレーナーにより治療にあたる。

○表彰式・閉会式について

3位まで入賞した大学は表彰式並びに閉会式への参加が義務である。諸事情により参加できない場合は、大会デ
ィレクターまで申し出ること。

○主将主務会議について

当日試合がある大学の主将、主務は 8:40(決勝,3 位決定戦の日は 7:40)から主将主務会議に参加すること。その際
に、当日の注意事項の確認を行う。

代理を出席させることは可能。その際の委任状などの提出は行わなくてよい。

○試合の棄権・退場処分について

・選手が痙攣や怪我等でこれ以上試合の続行が難しい場合、レフェリー・トレーナーの判断により強制的に、棄
権させることがある。これは、当該選手の今後の選手活動を最大限考慮した結果であり、これに対する質疑は可
能だが、提訴は行えない。

・選手の行動や言動により、警告なしで当該選手を失格させることがある。これは、大会委員長・レフェリーの
判断によるもので、これに対する質疑は受ける抗議は受け入れない。また、失格選手は大会期間中のすべての種
目に参加することはできない。

・応援に関しても、ひどい場合は警告なしで退場させることがある。これは、大学の監督・コーチ・選手・OB等
に対し行う。また、一度退場になった者は、大会期間中、応援を一切行うことができない。

○旗・ベンチ

各大学の旗はコート選択権のある学校が決めることができる。ベンチも同様である。

○その他の注意事項

・パラソルはチェンジコート間のみ開いてもよい。

・準決勝、3 位決定戦、決勝戦（20 時以降）以外の試合は勝敗が決まっても原則として打ち切りにはしない。雨
天時や試合進行が大幅に遅れている場合はこの限りでない。

・ナイター使用は原則 21 時まで。

2025 年

全日本大学対抗テニス王座決定試合

オーダー規約

【シングルス】

- 1、本年度全日本学生テニス選手権大会（単）優勝者
- 2、本年度全日本学生テニス選手権大会（単）準優勝者
- 3、J T A（単）ランキング 60 位以内（2025 年第 42 週時点）
- 4、本年度全日本学生テニス選手権大会（単）ベスト 4 進出者
- 5、本年度全日本学生テニス選手権大会（単）ベスト 8 進出者
- 6、全日本学生テニスランキング（単）10 位以内（2025 年 10 月 20 日付け）
- 7、本年度全日本学生テニス選手権大会（単）ベスト 16 進出者
- 8、全日本学生テニスランキング（単）20 位以内（2025 年 10 月 20 日付け）
- 9、J T A（単）ランキング 100 位以内（2025 年第 42 週時点）
- 10、本年度全日本学生テニス選手権大会（単）ベスト 32 進出者
- 11、全日本学生ランキング（単）40 位以内（2025 年 10 月 20 日付け）
- 12、本年度全日本学生テニス選手権大会（単）出場者
- 13、本年度全日本学生テニス選手権大会（単）予選出場者
- 14、本年度各地域大会（春季・夏季）（単）本戦出場者
- 15、無資格者

★複数の資格に重なる者は、上位の資格を適用するものとする。

★同項目の者は全て同資格者とし、同資格者の入れ替えは全て自由とする。

【ダブルス】

- 1、本年度全日本学生テニス選手権大会（複）優勝者
- 2、本年度全日本学生テニス選手権大会（複）準優勝者
- 3、J T A（複）ランキング 60 位以内（2025 年第 42 週時点）
- 4、本年度全日本学生テニス選手権大会（複）ベスト 4 進出者
- 5、全日本学生テニスランキング（複）10 位以内（2025 年 10 月 20 日付け）
- 6、本年度全日本学生テニス選手権大会（複）ベスト 8 進出者
- 7、全日本学生テニスランキング（複）20 位以内（2025 年 10 月 20 日付け）
- 8、J T A（複）ランキング 100 位以内（2025 年第 42 週時点）
- 9、本年度全日本学生テニス選手権大会（複）ベスト 16 進出者
- 10、全日本学生ランキング（複）40 位以内（2025 年 10 月 20 日付け）
- 11、本年度全日本学生テニス選手権大会（複）出場者

- 12、本年度全日本学生テニス選手権大会（複）予選出場者
- 13、本年度各地域大会（春季・夏季）（複）本戦出場者
- 14、無資格者

項目番号の和が少ない組を上位とする

★複数の資格に重なる者は、上位の資格を適用するものとする。

★項目の和が等しい場合、正規ペアを上位とする。

正規ペアとは本年度全日本学生テニス選手権大会出場ペアを指す。

★正規ペア同士、または非正規ペア同士で項目番号の和が等しい組に関しては、入れ替え自由とする。

例) ○ $A(4)+B(4)=8$ の正規ペア、 $C(2)+D(6)=8$ の非正規ペア →①A+B、②C+D

○ $A(7)+B(7)=14$ の正規ペア、 $C(7)+D(7)=14$ の正規ペア →入れ替え自由

○ $A(3)+B(4)=7$ の非正規ペア、 $C(2)+D(5)=7$ の非正規ペア →入れ替え自由

全日本大学对抗テニス王座決定試合 歴代優勝校 男子

第 1 回	(昭和 22 年)	法政大学	5-4	関西学院大学
第 2 回	(昭和 23 年)	関西学院大学	5-4	法政大学
第 3 回	(昭和 24 年)	関西学院大学	5-4	早稲田大学
第 4 回	(昭和 25 年)	関西学院大学	6-3	慶應義塾大学
第 5 回	(昭和 26 年)	早稲田大学	6-3	神戸大学
第 6 回	(昭和 27 年)	神戸大学	5-4	慶應義塾大学
第 7 回	(昭和 28 年)	慶應義塾大学	7-2	関西学院大学
第 8 回	(昭和 29 年)	関西学院大学	5-4	慶應義塾大学
第 9 回	(昭和 30 年)	慶應義塾大学	6-3	関西学院大学
第 10 回	(昭和 31 年)	関西学院大学	6-3	慶應義塾大学
第 11 回	(昭和 32 年)	慶應義塾大学	6-1	関西学院大学
第 12 回	(昭和 33 年)	慶應義塾大学	5-4	関西学院大学
第 13 回	(昭和 34 年)	慶應義塾大学	5-4	関西学院大学
第 14 回	(昭和 35 年)	関西学院大学	6-3	慶應義塾大学
第 15 回	(昭和 36 年)	関西学院大学	7-2	早稲田大学
第 16 回	(昭和 37 年)	関西学院大学	6-3	早稲田大学
第 17 回	(昭和 38 年)	甲南大学	5-4	慶應義塾大学
第 18 回	(昭和 39 年)	慶應義塾大学	6-3	関西学院大学
第 19 回	(昭和 40 年)	慶應義塾大学	7-2	甲南大学
第 20 回	(昭和 41 年)	慶應義塾大学	8-1	関西学院大学
第 21 回	(昭和 42 年)	慶應義塾大学	7-2	甲南大学
第 22 回	(昭和 43 年)	法政大学	8-1	関西学院大学
第 23 回	(昭和 44 年)	法政大学	6-3	関西学院大学
第 24 回	(昭和 45 年)	慶應義塾大学	5-4	関西学院大学
第 25 回	(昭和 46 年)	法政大学	6-3	甲南大学
第 26 回	(昭和 47 年)	法政大学	7-2	中京大学
第 27 回	(昭和 48 年)	早稲田大学	6-3	法政大学
第 28 回	(昭和 49 年)	慶應義塾大学	5-4	早稲田大学
第 29 回	(昭和 50 年)	日本大学	7-2	福岡大学

第 3	0 回	(昭和 5 1 年)	慶應義塾大学	5-4	関西学院大学
第 3	1 回	(昭和 5 2 年)	慶應義塾大学	7-0	近畿大学
第 3	2 回	(昭和 5 3 年)	中央大学	7-2	甲南大学
第 3	3 回	(昭和 5 4 年)	甲南大学	5-4	早稲田大学
第 3	4 回	(昭和 5 5 年)	中央大学	5-4	甲南大学
第 3	5 回	(昭和 5 6 年)	中央大学	7-2	近畿大学
第 3	6 回	(昭和 5 7 年)	明治大学	9-0	関西学院大学
第 3	7 回	(昭和 5 8 年)	明治大学	5-4	関西学院大学
第 3	8 回	(昭和 5 9 年)	法政大学	9-0	福岡大学
第 3	9 回	(昭和 6 0 年)	早稲田大学	9-0	中京大学
第 4	0 回	(昭和 6 1 年)	早稲田大学	8-1	明治大学
第 4	1 回	(昭和 6 2 年)	早稲田大学	6-3	慶應義塾大学
第 4	2 回	(昭和 6 3 年)	早稲田大学	9-0	慶應義塾大学
第 4	3 回	(平成元年)	早稲田大学	6-3	日本大学
第 4	4 回	(平成 2 年)	日本大学	5-4	早稲田大学
第 4	5 回	(平成 3 年)	早稲田大学	8-1	慶應義塾大学
第 4	6 回	(平成 4 年)	早稲田大学	5-4	日本大学
第 4	7 回	(平成 5 年)	早稲田大学	5-4	日本大学
第 4	8 回	(平成 6 年)	亜細亜大学	6-3	日本大学
第 4	9 回	(平成 7 年)	亜細亜大学	7-2	近畿大学
第 5	0 回	(平成 8 年)	近畿大学	7-2	亜細亜大学
第 5	1 回	(平成 9 年)	近畿大学	5-4	亜細亜大学
第 5	2 回	(平成 1 0 年)	近畿大学	7-2	早稲田大学
第 5	3 回	(平成 1 1 年)	近畿大学	8-1	亜細亜大学
第 5	4 回	(平成 1 2 年)	近畿大学	5-4	亜細亜大学
第 5	5 回	(平成 1 3 年)	早稲田大学	5-4	近畿大学
第 5	6 回	(平成 1 4 年)	早稲田大学	5-4	近畿大学
第 5	7 回	(平成 1 5 年)	近畿大学	5-4	日本大学
第 5	8 回	(平成 1 6 年)	日本大学	6-3	早稲田大学
第 5	9 回	(平成 1 7 年)	早稲田大学	8-1	法政大学

第 6 0 回 (平成 1 8 年) 早 稲 田 大 学 8-1 近 畿 大 学
第 6 1 回 (平成 1 9 年) 早 稲 田 大 学 8-1 慶 應 義 塾 大 学
第 6 2 回 (平成 2 0 年) 早 稲 田 大 学 6-3 法 政 大 学
第 6 3 回 (平成 2 1 年) 早 稲 田 大 学 9-0 慶 應 義 塾 大 学
第 6 4 回 (平成 2 2 年) 早 稲 田 大 学 8-1 法 政 大 学
第 6 5 回 (平成 2 3 年) 早 稲 田 大 学 8-1 慶 應 義 塾 大 学
第 6 6 回 (平成 2 4 年) 早 稲 田 大 学 7-2 法 政 大 学
第 6 7 回 (平成 2 5 年) 早 稲 田 大 学 9-0 慶 應 義 塾 大 学
第 6 8 回 (平成 2 6 年) 早 稲 田 大 学 5-4 慶 應 義 塾 大 学
第 6 9 回 (平成 2 7 年) 早 稲 田 大 学 7-2 慶 應 義 塾 大 学
第 7 0 回 (平成 2 8 年) 早 稲 田 大 学 7-2 明 治 大 学
第 7 1 回 (平成 2 9 年) 早 稲 田 大 学 8-1 慶 應 義 塾 大 学
第 7 2 回 (平成 3 0 年) 早 稲 田 大 学 6-3 慶 應 義 塾 大 学
第 7 3 回 (令和元年) 早 稲 田 大 学 6-3 慶 應 義 塾 大 学
第 7 4 回 (令 和 2 年) 実 施 さ れ ず
第 7 5 回 (令和 3 年) 早 稲 田 大 学 6-3 慶 應 義 塾 大 学
第 7 6 回 (令和 4 年) 早 稲 田 大 学 5-4 慶 應 義 塾 大 学
第 7 7 回 (令和 5 年) 慶 應 義 塾 大 学 6-3 日 本 大 学
第 7 8 回 (令和 6 年) 日 本 大 学 7-2 筑 波 大 学

全日本大学対抗テニス王座決定試合歴代優勝校女子

第1回(昭和40年)日本大学 5-0 大阪成蹊女子短期大学

第2回(昭和41年)慶應義塾大学 5-0 武庫川女子大学

第3回(昭和42年)武庫川女子大学 4-1 慶應義塾大学

第4回(昭和43年)日本大学 3-2 武庫川女子大学

第5回(昭和44年)日本大学 3-2 武庫川女子大学

第6回(昭和45年)日本大学 5-0 安田女子大学

第7回(昭和46年)武庫川女子大学 3-2 青山学院大学

第8回(昭和47年)青山学院大学 3-2 武庫川女子大学

第9回(昭和48年)安田女子大学 4-1 武庫川女子大学

第10回(昭和49年)武庫川女子大学 4-1 日本大学

第11回(昭和50年)武庫川女子大学 3-2 日本大学

第12回(昭和51年)青山学院大学 4-1 武庫川女子大学

第13回(昭和52年)園田学園女子大学 4-1 日本大学

第14回(昭和53年)園田学園女子大学 5-0 日本大学

第15回(昭和54年)園田学園女子大学 5-0 青山学院大学

第16回(昭和55年)園田学園女子大学 4-1 市邨学園大学

第17回(昭和56年)園田学園女子大学 4-1 市邨学園大学

第18回(昭和57年)園田学園女子大学 4-1 市邨学園大学

第19回(昭和58年)園田学園女子大学 4-1 名古屋経済大学

第20回(昭和59年)園田学園女子大学 4-1 名古屋経済大学

第21回(昭和60年)園田学園女子大学 4-1 青山学院大学

第22回(昭和61年)園田学園女子大学 4-1 青山学院大学

第23回(昭和62年)園田学園女子大学 3-1 松蔭女子学院大学

第24回(昭和63年)園田学園女子大学 3-2 松蔭女子学院大学

第25回(平成元年)園田学園女子大学 3-2 松蔭女子学院大学

第26回(平成2年)園田学園女子大学 4-1 専修大学

第27回(平成3年)園田学園女子大学 3-2 松蔭女子学院大学

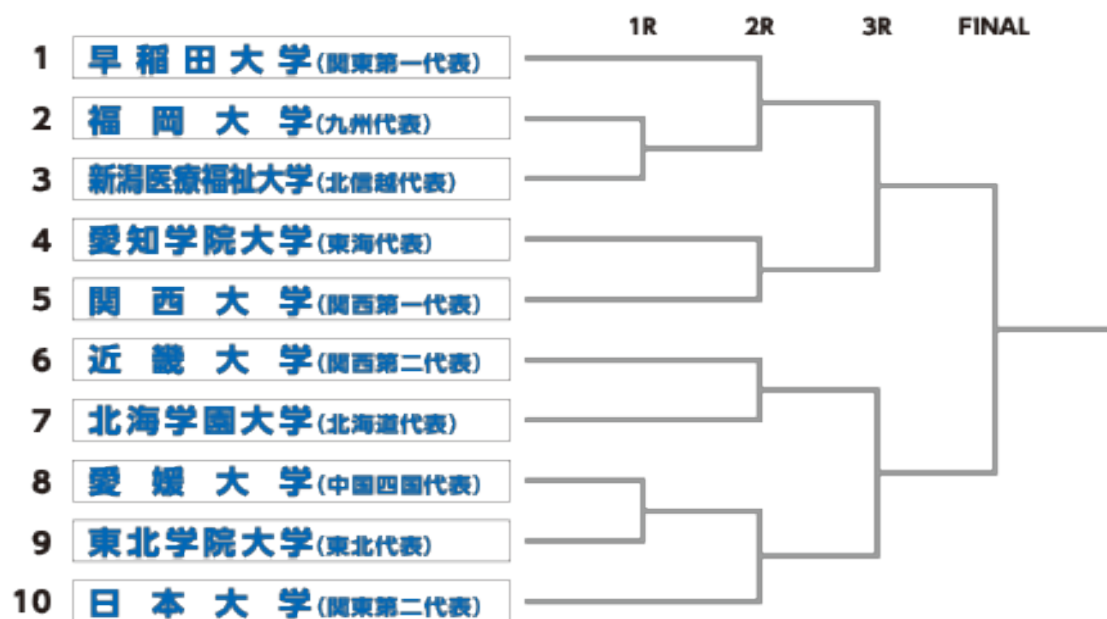
第28回(平成4年)専修大学 3-2 松蔭女子学院大学

第29回(平成5年)亜細亜大学 5-0 松蔭女子学院大学

第 3 0 回(平成 6 年)青山学院大学 3-2 園田学園女子大学
第 3 1 回(平成 7 年)園田学園女子大学 4-1 青山学院大学
第 3 2 回(平成 8 年)園田学園女子大学 4-1 亜細亜大学
第 3 3 回(平成 9 年)亜細亜大学 4-1 青山学院大学
第 3 4 回(平成 1 0 年)亜細亜大学 5-0 園田学園女子大学
第 3 5 回(平成 1 1 年)園田学園女子大学 4-1 筑波大学
第 3 6 回(平成 1 2 年)園田学園女子大学 3-1 亜細亜大学
第 3 7 回(平成 1 3 年)早稲田大学 4-1 松蔭女子学院大学
第 3 8 回(平成 1 4 年)園田学園女子大学 3-2 相愛女子短期大学
第 3 9 回(平成 1 5 年)園田学園女子大学 3-2 相愛大学
第 4 0 回(平成 1 6 年)相愛大学 4-1 園田学園女子大学
第 4 1 回(平成 1 7 年)相愛大学 3-2 園田学園女子大学
第 4 2 回(平成 1 8 年)早稲田大学 4-1 亜細亜大学
第 4 3 回(平成 1 9 年)早稲田大学 5-0 園田学園女子大学
第 4 4 回(平成 2 0 年)早稲田大学 5-0 園田学園女子大学
第 4 5 回(平成 2 1 年)早稲田大学 5-0 専修大学
第 4 6 回(平成 2 2 年)早稲田大学 5-0 専修大学
第 4 7 回(平成 2 3 年)早稲田大学 4-1 亜細亜大学
第 4 8 回(平成 2 4 年)早稲田大学 3-2 関西学院大学
第 4 9 回(平成 2 5 年)早稲田大学 4-1 関西学院大学
第 5 0 回(平成 2 6 年)早稲田大学 5-0 山梨学院大学
第 5 1 回(平成 2 7 年)早稲田大学 4-1 慶應義塾大学
第 5 2 回(平成 2 8 年)早稲田大学 4-1 筑波大学
第 5 3 回(平成 2 9 年)早稲田大学 5-0 筑波大学
第 5 4 回(平成 3 0 年)早稲田大学 4-1 亜細亜大学
第 5 5 回(令和 元 年)筑波大学 3-2 関西大学
第 5 6 回 (令和 2 年) 実施されず
第 5 7 回 (令和 3 年) 慶應義塾大学 5-0 早稲田大学
第 5 8 回 (令和 4 年) 慶應義塾大学 3-2 筑波大学
第 5 9 回 (令和 5 年) 筑波大学 3-2 亜細亜大学
第 6 0 回 (令和 6 年) 筑波大学 3-2 関西大学

全日本大学対抗テニス王座決定試合

男子



女子

